

くまの 議会だより

今年もたくさん実ったわ~!!



10月、新宮地区の田んぼにて



9月定例会

- 平成16年度決算認定 2
- スバリ! 町政を問う 4
- 発見! 熊野町のエエところ「椿原名水」 11
- グループ紹介 「エコボランティア熊野」 12

第56号
2005.11.1



「もったいない」の精神をもう一度。
再利用・再資源は身近なところから。

「エコボランティア熊野」



イヌも一緒に楽しくポカシ作り?!

「もったいない、もったいない...」
小さい頃からおばあちゃんに言
われつけ、何を捨てるにも「何
かに使えないかしら...」と思っ
てしまう、そんな人たちが集ま
っているのが「エコボランティア
熊野」です。
現在のメインの活動は、EM
菌を使った『ポカシ作り』。ポ
カシは生ゴミにまぜて発酵させ
て堆肥を作るものです。堆肥を
使う庭や畑が無い場合でも、ポ
カシをそのまま土に混ぜ込んで
使うこともできます。鉢植えや
プランターの力り力りになった
土が柔らかく生まれ変わります。
そんなポカシは材料さえあれば
自分で作ることができですが、

※「EM菌」：数々の有益な微生物(酵母菌・乳酸菌・光合成細菌などの集合体を総してEM菌と呼ぶ。水質・土壌改善、植物の育成促進や病害虫の予防など、あらゆる面で有能な可能性があるとされている。「ポカシ」とは、EM菌に粉殻や糠、糖蜜を混ぜて、生ゴミ堆肥をつくる際の発酵促進剤とするもの。

一人で作るのは大変ですし、長
続きしません。エコボランティ
ア熊野では、自分たちが使うポ
カシを作るのとあわせて、皆さ
んが気軽に使っていただけによ
うに量産し、Aコープ熊野団地
支店とあゆみ生活実習所で販売
しています。その収益の半分は
あゆみ生活実習所の収入となり、
残りの半分をグループの活動費
にあてています。
もう一つの活動は『古着の販
売』です。使い捨てられる服の
多いこと。紐で括られて捨てら
れていく服、捨てるに捨てられ
ずタンスの中で眠っている服、
サイズが合わなくなって着られ
なくなった服...、そんな服に「も
う一度活躍のチャンスあげた
い!」そんな思いで古着の回収
販売をはじめました。
「古着なんて...」と思われるか
もしれませんが、どんな高い服
でも一度着ればもう古着です。
町民の方々から無償で頂いた古
着にも、実は掘り出し物がいつ
ぱいあります。販売はフリーマ
ーケットなどで行い、どんなも
のでも一着50円で販売。この売
上収益からボランティアの活動
費を差し引いて、あゆみ生活実
習所に寄付を行っています。



ココだけの話、ボランティア
だけの特権もあるんです。報酬
はありませんが、古着は自由に
選び放題。いくら持ち帰っても
いいことにしています。もしサ
イズが合わなければ、次の古着
市へ出せばいいんです。
この活動で集まる古着は後を
絶ちません。これは、みんな心
の底では「もったいない」と思
っている現われだと思えます。
現在メンバーは10名ほどです
が、需要が増えれば増えるほど、
人手は足りなくなっています。



▲ 次の定例会は、
12月14日(水曜日)
開会を予定しています

✓ 議会だより題字
荒谷 大丘さん

📷 表紙写真
熊野陸上スポーツ
少年団のみんな

があと
9月に入っても暑い
日が続いた。そんな秋
晴れの中行われたのは
各校の運動会である。
大勢の家族が見守る中、音楽にあわ
せて大きく、活き活きと手を振り、
運動場を行進していく様は見えて
大変気持ち良かった。この日のた
めに日頃練習してきた成果を発揮す
る...。運動会を通して大きく成長し
た生徒も多いことだろう。清らしい
感動を、今年もありがとう。
(広報特別委員)

📞 問い合わせ先
070-5528-8107
小林 文枝 まで。

みなさん、ぜひ一緒に活動しま
しょう。ポカシ作りは毎月第二
火曜日に城之堀のピニールハウ
スで、古着市は4、6、10、12
月の第二土曜日にユアーズの駐
車場でやっています。あなたも
一緒にやりませんか?できるこ
とからはじめませんか?ポカシ
も古着も現物支給ですが、現金
よりも楽しいですよ。